

鴨川ふるさと会だより

— 第18号 —

鴨川ふるさと会発行 事務局：〒296-8601 千葉県鴨川市横渚1450番地（鴨川市役所企画政策課内） TEL：04-7093-7828



平成29年度 定期総会を鴨川にて開催します

議事終了後には、亀田郁夫新市長(市執行部)との市政懇談会、ふるさとセミナー「オルカ鴨川FCホーム戦観戦」等を併催

プロフィール

氏名	亀田 郁夫(かめだ いくお)氏
居住地	鴨川市東町
生年月日	昭和27年2月16日
血液型	AB型
略歴	会社役員、鴨川市議会議員 千葉県議会議員
趣味	水泳、映画鑑賞
座右の銘	有言実行

この度の市長選挙におきまして、市民皆様の負託を賜り、去る3月13日より鴨川市長に就任致しました、亀田郁夫です。本市は、首都圏に近い中で、農業、漁業、観光、商業、医療、福祉、教育、スポーツ、文化など、様々な分野で、素晴らしい資源を有しています。



市長就任のあいさつ

そして、この「鴨川市」は、先達の熱意とご努力により、今日の姿を築き上げられてきたものであり、このことにつきましても心から敬意を表します。私の市政運営の基本的な考え方は、「市民最優先」です。市民の満足度を上げることが行政の使命であり、情報公開の促進による市民との共通理解を深めながら、行財政改革を進めていくことが、本市における喫緊の課題であると認識しています。本市の厳しい財政状況の中で、その健全性を確保しながら、地域の活性化を図るため、本市にとって何が必要なのか、それぞれの事業の優先順位はどうか、市民皆様とともに、しっかりと考えていくことが必要であると考えています。

「鴨川」というまちに愛着を持ち、本市のまちづくりを「自分ごと」として捉え、まちづくりに積極的に参画できるような市政運営を目指して参ります。市長就任に当たり、「経済再生」、「生活充実」、「インフラ整備」、「行財政改革」この4点の政策を掲げさせて頂き、現在、本市の状況把握に努めながら、様々な課題に丁寧に向き合い、解決すべく、職員とともに日々邁進しております。鴨川ふるさと会の皆様におかれましては、一層のお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。就任のごあいさつと致します。

新規会員を募集しています！

本会では、年間を通して新規会員を募集しています。今回、会報発送に併せて、会員募集チラシを同封させていただきました。会員の皆様のお知り合いの方で、鴨川出身の方や鴨川にゆかりがあり応援したいという方へお配りいただくなど、会員の募集にぜひご協力ください。

定期総会

鴨川ふるさと会の平成29年度定期総会を7月23日(日)午前11時から、鴨川市総合運動施設内の文化体育館会議室で開催します。

総会では、平成28年度事業報告や決算報告、平成29年度事業計画案や予算案などについてご審議いただきます。

議事終了後には、皆様のご意見・ご提言を市政に届けるため、市執行部をお招きし、鴨川のまちづくりについて会員の皆様との懇談の機会を設けます。どうぞ、ふるさと鴨川の発展のために、皆様がご持ちのご意見やアイデアをご提言ください。

市政懇談会終了後には、昼食会の場を設けます。

また、昼食会後には、同総合運動施設内の陸上競技場で開催されるオルカ鴨川FCのホーム戦を観戦します。

気の許せる同郷の仲間と、ふるさと鴨川の今昔について語り合うひと時をお過ごしください。

当日は、ご家族等(会員でなくても構いません。)をお誘い合わせの上、皆様、ぜひご出席ください。

※出欠については、この会報に同封の出欠票にて、事務局へご回答ください。会場準備の都合上、7月12日(水)までに返信くださるようお願いいたします。

平成29年度 鴨川ふるさと会 定期総会等のご案内

○日時 平成29年7月23日(日) 11:00~17:00(予定)

○場所 鴨川市総合運動施設内 文化体育館2階会議室 他 鴨川市太尾866-1 電話 04-7093-5111

○内容

- ◇定期総会
- ◇市政概要説明
- 市執行部との懇談会
- ◇昼食会
- ◇ふるさとセミナー
- 「オルカ鴨川FCホーム戦観戦」

○会費 2,000円(会員、家族一律)

※サッカー観戦のみ希望の方は、無料で観戦いただけます。(要申込)

※詳細は、同封の総会案内をご覧ください。

※内容については、変更となる場合がございます。予めご了承ください。



「ふるさと」

鴨川ふるさと会理事

渡邊 治 巳

穀物を植えることを「稼(か)」

といい、取り入れることを「穡(しょく)」という、中国の古い農事の理があります。農事が、社会の基本であった、古代の頃の言葉です。ふるさと鴨川には、おいしい長狭米があります。農家の方が、春に稲を植えますが、この「稼」の時期が私はとても好きです。都心から鴨川への道筋で、植えたばかりのグリーンベルトが私を出迎えてくれます。子供のころから見慣れた風景ですが、年齢を重ねた現在では、心休まるシーンといえます。稼穡という収穫を得るには、苗の虚実を見極める洞察力ではなく、荒怠しない観察力であるといえます。言い換えれば農事を行う人々の忍耐力です。稲作は、春夏秋冬という厳しい四序に従うことを前提としています。常に天地を相手にしていると、自ずと人の力の限界を痛感せざるを得ないという証拠なのでしょう。きつとそこには、妄想や幻想は存在しないはずです。この古い道理は、人生

そのものではと、思います。それは稼と穡の間には、途切れることのない、自然界を見つめる「継続」という力が、必要なのだと感じるからです。そして、おいしい長狭米の記憶は、新米の季節になると大山出身の優しい兄嫁が、よく送ってくれましたので、私の嗅覚と舌が未だに覚えています。作家の司馬遼太郎は、「日本人は、いつも思想はそこからくるものだと思っている。」と言っています。まさに、的を射た言葉だと鮮明に記憶しています。稼穡の思想も技術もすべて大陸からの輸入物です。ふるさとの長狭米のほかに何かと聞かれたら迷わずマイワシが好きと答えます。

定置網漁業です。 「いわし類」の場合は主として「定置網」の漁獲高によって水揚げが左右されるそうです。定置網の説明については割愛しますが、いわしの回遊する特徴をうまく利用した、人間の頭脳プレーの賜物です。 いわしは、私たちにとって安易に選べる蛋白源の一つです。そして、料理の仕方は、刺身や塩焼きやフライ、天ぷらから、酢の物、煮付けなどにもでき万能です。それに、なんととっても美味しい魚です。また最近では、栄養面でのDHAやEPAなどの不飽和脂肪酸が豊富であることが解明され、且つC.O.Q10が含まれることも周知の事実です。これは眉唾物ですが、70才で亡くなった父が子供の頃は、船べり近くの海面がイワシで迫り上がり、手で獲れたと、まことしやかに聞いたことがあります。50年ほど前はそれほど大量にいわしが獲れたということでしょう。

千葉県全域の漁場で取れる「いわし類(まいわし、うるめいわし外)」の漁況経過が、農林水産省の大海区都道府県振興局別統計(平成24年版)を元に都道府県別にランキングされています。これを見ると、とても興味深いです。いわし類漁獲量は2位の三重県を大きく引き離してトップは千葉県です。3位は海の少ない茨城県です。この三県で全国の約35%を占めています。漁法は、私が子供の頃とそう違いはなく、二艘式巻網漁船による巻網漁業が主体です。いわゆる

そして、平均単価は全国的に、水揚げ量が減少しつつあることもあってか、1000〜1500円/kgということでした。30年ほど前の二倍の価格だと体感しています。 鴨川と同様に漁港の町である長崎市上西山町の諏訪神社

に「伝統の「右回し2回半」を威勢よく披露する根曳(ねびき)衆」という昔気質の踊りで「魚に対する感謝」をする町があります。

『長さ五メートル・重さ1・5トンの船体「右回し二回半」』。時代の流れとともに、新たな技に挑む踊り町が増える中、かたくなに伝統を守る魚の町。その証しこそが、時計回り二回半の船回し。総勢十六人の根曳衆が動き始めれば、船を止めることはない。威勢よく一気に回転する姿は勇壮そのものだ。』(引用：長崎観光協会)

鴨川のお祭りもきつと古くは、上西山町の様な伝統的な意味合いがあるのでしよう。出来れば地域のご老体にお聞きしたいものです。

魚を捕って生計を立てている町は「海洋資源」と「生活」を昔から、うまくバランスをとってきた。それが、この踊りに現れているのでしよう。漁師のスキルは、高度なソフトウェア開発技術に、匹敵するほど「経験と勘と頭脳」を必要とします。しかし、仕掛けがより巨大化すると、漁師の能力でなく、ビジネスになりますね。農事も同様ですが。

その捕獲方法の研究により、長い間大漁に次ぐ大漁を誇っていたいわしですが、近年は

日本の周辺の海では、漁獲高がどんどん減少し、値段が高騰しています。お寿司屋さんでも「今日、いわしは？」と聞く

と、五回に三回は築地で手に入れられなかった事を聞きま

す。逆に、米国周辺の海では、漁獲高が上がっているそうです。皮肉ですね。米国人はい

わしを肥料として取引しています。勿論日本に、輸入した場合は「冷凍」ですよ。そんなの食べたくない。いずれにしても漁獲高の減少は、深刻な問題です。「いわし」の減少は、食物連鎖の枠を崩します。

僕らは、酸素を吸い込んで、炭酸ガスを吐き出しています。それが、動物の呼吸作用です。魚はというと、人間の肺の代わりに「えら」で水中に、溶け込んでいる酸素を呼吸して生活しています。例えば海洋汚染で重油の流失があると、直ちに海面に、それも広範囲に広がって油膜を作ります。なので、大気からの新たな、酸素の取り込みを遮断します。また、油でなくそれが薬品の場合は、とつともなく大きな問題になります。私たち日本人は「水俣病」で十分に経験済みですね。今ラテンアメリカで、未処理廃水による海洋汚染の問題が、大きく取り上げられていきます。日本は消費

国です。「お魚」をたくさん輸入しています。勿論、ラテンアメリカからも輸入しています。当然、「お魚」は酸素なくして生きていけません。それには新鮮な「海」が必要ですよ。

海中に溶け込むガスは海面から大気中のガスを吸収したものです。特にシケのときに大きくたくさん波立つので吸収が活発になり「海」は生まれ変わります。航海するほうとしては平穏な風の方がいいのですが、魚たちは単調な海流を嫌い変化のある海流を好みます。特にマグロやカツオはシケに漁があり、イカやサバなどもシケの前に群集し、大漁となる事が多いです。昔から「漁」はその様にやってきました。

また、大気中の炭酸ガス量は、海中の比率が陸地よりもずっと多いそうです。そして、大気中の炭酸ガスと海中の炭酸ガスは、一定のバランスによって均衡を保っていて、海中の浄化に役立っているそうです。それが、近年地球の温暖化によって大気中の炭酸ガスが増え続け、海中とのバランスに変化が現れ初めているらしいです。海水の水面温度

が上がると大気からの酸素の取り込みが少なくなるらしいのです。魚たちには酸素が必要であり、海に注ぐ有害な化

学物質は、食物連鎖を通じて濃縮されながら、魚たちの体内に蓄積されていきます。地球の「海は汚染」されつつあります。汚染には、ゴミや産業廃棄物の投棄、船の事故などによる原油の流出といった一過性のものと、工場や家庭からの排水、河川や大気からの農薬などの化学物質の流入といった慢性的なものがあります。現在、大きな問題となっているのは、私たち人間が出す生活排水に多量に含まれている、有機物による汚染です。海に注ぐ有害な化学物質は、食物連鎖を通じて濃縮されながら、生物の体内に蓄積されていきます。生態系の上位の捕食者ほど、高濃度の化学物質を取り込むこととなりますが、地球の生態系のトップにいるのは私たち人間なのです。たとえば、水俣病は水銀に犯された魚介類を食べ続けた結果なのです。バクテリアがいくらかないほど、地球の「海は汚染」されつつあります。

私たちが家庭や河川や海岸で何気なく捨てている物がどのくらい「海」を汚しているのでしょうか？

昔々の和船の話ですが、当時の船乗りにとって真水は当然ながらとても貴重なものでした。海水から真水を抽出する方法を知らない、または知っていても設備が無い当時としては、真水は統制しなければなら

ない貴重品でした。また、真水の使い方には順序があるようで、まず「お米」を磨ぐのに使い、次に「顔を洗い、後に簡単な洗い物のために取っておくそうです。

現在の船舶は蒸留器を設備している船も有りますし、無くなると港に補給のために寄港します。昔のように真水を大切にすることは、あまり必要はなさそうです。但し、「米のとぎ汁」は昔も今も海洋を汚染します。とても重要な事です。

たとえば、「米のとぎ汁・三合分」を海水に捨てた場合、お魚が住める水質に戻すために必要な海水の量は私たちの家庭にある浴槽(300リットル)で「四杯」が必要です。因みに、他の食品を並べると、しょうゆ大さじ1杯(15ミリリットル)であれば、浴槽1・5杯が必要です。極めつけは、てんぷら油(500ミリリットル)です。なんと浴槽330杯が必要なんです。恐ろしくなりますね。

私はふるさと鴨川で、おいしいお米を食べたいです。おいしいお米を食べたいです。おいしいお米を食べたいです。

安全なお米とお魚を食べたいです。



オルカ鴨川FC トピックス

▼オルカ鴨川FCの近況

今シーズン「プレナスなしこリーグ2部」へ昇格したオルカ鴨川FCは、5月27日現在において、開幕から4勝5分1負でリーグ3位に付いています。

引き続き応援をよろしくお

▼願います。

熊本地震被災地支援

熊本地震から1年が経過し、被災地はまだまだなお長い復興への道のりの途上にあります。このような中、オルカ鴨川FCと2015年チャレンジリーグ入れ替え戦で激闘を交わした縁のある益城ルネサンス熊本フットボールクラブが運営組織の解散という危機を乗り越え、熊本ルネサンスフットボールクラブとして再始動しました。これを受け、オルカ鴨川FCでは4月23日に熊本応援試合として開催したホームゲームで募金いただいた支援金14万2千222円を熊本ルネサンスフットボールクラブへ寄付いたしました。



た縁のある益城ルネサンス熊本フットボールクラブが運営組織の解散という危機を乗り越え、熊本ルネサンスフットボールクラブとして再始動しました。これを受け、オルカ鴨川FCでは4月23日に熊本応援試合として開催したホームゲームで募金いただいた支援金14万2千222円を熊本ルネサンスフットボールクラブへ寄付いたしました。

鴨川市

納涼花火

鴨川大会
小湊大会

7月29日(土) 午後7時30分から8時20分まで、「日本の渚百選」に選定されている前原・横渚海岸を会場として、「鴨川市納涼花火 鴨川大会」が開催されます。

鴨川の花火大会の代名詞でもある水中花火をはじめ、スターメインなど9千発を打ち上げる予定。また、ものまね芸人吉川工事中や矢沢M吉、木更津発仏恥義理アイドルやstyleなどのステージも予定

されています。水上で繰り広げられる鮮やかな花火を、この機会にぜひご覧ください。また、8月16日(水) 午後8時15分から8時45分まで、小湊漁港を会場として、「鴨川市納涼花火 小湊大会」が開催されます。漁港を舞台に内浦湾を鮮やかに彩る花火をどうぞご覧ください。

※ 荒天の場合は、順延となります。当日は、駐車場に限りがあり、会場周辺は大変混

み合いますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
※ 問い合わせは、鴨川市観光協会(☎04-7092-0086)へ。



掲載記事を募集します！

事務局では、会員の皆様からの「鴨川ふるさと会だより」への掲載記事を募集しています。日頃感じていることや、ふるさと鴨川への想い、身の回りの出来事などを会員ページに掲載してみませんか。

今号では、理事の渡邊治巳さんに「ふるさと」というテーマで、ご寄稿をいただきました。ありがとうございました。

今後も、この「鴨川ふるさと会だより」を、会員同士の交流を深める場、報告の場などとして、どうぞお気軽にご利用ください。

* 鴨川出身の方などの お店をご紹介します。

鴨川出身の方などが経営している店舗等を、会報に掲載し、会員の皆様にご紹介しています。自薦他薦は問いません。

同封の「ご紹介カード」に必要事項をご記入のうえ、事務局にご返送ください。

掲載についてのご了解等に関しては、事務局で再度確認をさせていただきます。ぜひ、情報をお寄せください。